

平成18年11月 2日

各 位

会 社 名 和興エンジニアリング株式会社
 代表者名 代表取締役社長 福井 敏明
 (JASDAQ・コード1756)
 問合せ先
 常務取締役
 業務企画部長 竹内 俊三
 電話03-3798-4412

退職給付会計基準変更時差異の一時償却に伴う業績予想修正のお知らせ

この度、当社において下記のとおり、特別損失が発生いたしますので、その概要をお知らせするとともに、平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の業績予想を修正いたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

(1) 退職給付会計基準変更時差異一時償却に伴う特別損失の計上

当社は、退職給付会計基準の適用初年度以降において、事業構造改革の一環として早期退職者の募集及び選択定年制を導入した結果、当中間期までにおいて退職給付会計基準の適用初年度を構成する従業員の概ね30%以上が退職するに至りました。このため、「退職給付会計制度間の移行に関する会計処理(企業会計基準適用指針第1号)」に規定する大量退職に該当すると判断されることから、当中間会計期間末現在の会計基準変更時差異未処理額のうち、大量退職者に係る部分を特別損失として721百万円計上し、財務体質の健全化をはかる予定であります。

なお、これにより、退職給付会計基準変更時差異未処理額の償却期間となる平成27年3月期まで、各年度において従前と比較し、80百万円程度の退職給付費用発生額の減少が見込まれます。

2. 平成19年3月期の業績予想の修正について

上記1.の結果、平成19年3月期業績予想を次のとおり修正します。

(1) 当中間期(平成18年4月1日～平成18年9月30日)の業績予想の修正

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想(A)	15,400	450	200
今回修正(B)	15,400	340	△ 240
増減額(B-A)	0	△ 110	△ 440
増 減 率	0.0%	△ 24.4%	—

(2) 通期 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)の業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	34,500	1,100	600
今回修正 (B)	34,500	1,100	220
増減額 (B-A)	0	0	△ 380
増減率	0.0%	0.0%	△ 63.3%

(参考) 平成18年3月期 (実績)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期 (4/1～9/30)	13,530	387	224
通期 (4/1～3/31)	32,192	868	486

3. 平成19年3月期の連結業績予想の修正について

上記1.の結果、平成19年3月期連結業績予想を次のとおり修正します。

(1) 当中間期(平成18年4月1日～平成18年9月30日)の業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	15,600	500	220
今回修正 (B)	15,600	390	△ 210
増減額 (B-A)	0	△ 110	△ 430
増減率	0.0%	△ 22.0%	—

(2) 通期 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)の業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	35,000	1,200	650
今回修正 (B)	35,000	1,200	270
増減額 (B-A)	0	0	△ 380
増減率	0.0%	0.0%	△ 58.5%

(参考) 平成18年3月期 (実績)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期 (4/1～9/30)	13,806	415	231
通期 (4/1～3/31)	32,722	976	564

4. 修正の理由

当中間期予想 (個別・連結) は、売上高につきましては、当初予想を達成する見込みであります。中間純利益につきましては、1. 項で記載いたしました、退職給付会計基準変更時差異一時償却に伴う特別損失の発生により当初予想を下回る見込みであります。

通期予想 (個別・連結) につきましては、売上高、経常利益は、当初予想を達成する見込みであります。当期純利益につきましては、1. 項に記載いたしました、退職給付会計基準変更時差異一時償却に伴う特別損失の発生により当初予想を下回る見込みであります。

以 上